

中東地域情勢研究会 第 25 回研究会 を行いました

2026 年 3 月 31 日

INPEX ソリューションズ(SLT)と東京大学先端科学技術研究センター(RCAST)、池内恵教授の研究室による中東地域情勢研究会では、3 月 2 日に最後となる第 25 回研究会を行いました。今回の研究会は RCAST の池内研究室において対面で行い、対面とオンラインとのハイブリッドで開催し、「イラン攻撃の危機とサウジ・UAE 対立がもたらす湾岸地域の安全保障の変容」のテーマで議論をしました。

イラン攻撃の危機とサウジ・UAE 対立がもたらす湾岸地域の安全保障の変容

<報告者> 池内恵東京大学先端科学技術研究センター教授 日時：
3月2日（月）15:00-17:00（日本時間）
場所：東京大学先端科学技術研究センター（駒場）及びZoomによるハイブリッド

計画では、米国のイランへの軍事的威圧と核交渉とサウジアラビアと UAE の対立による中東情勢への影響を検討する予定でしたが、研究会直前の 2 月 28 日に始まった米国・イスラエルによるイラン攻撃で「イラン戦争」が始まりました。戦争初期の、イランの最高指導者をはじめ体制指導部幹部が殺害され、イランはイスラエル及び湾岸地域の米

国資産に報復攻撃を行い、イランの攻撃で湾岸諸国の民間施設にも被害が出るという状況下で、研究会では、米・イラン交渉の経緯、米・イスラエルの攻撃の狙い、イランの反撃、湾岸諸国の対応など、戦争の帰趨と地域及び世界への影響について議論されました。



中東地域情勢研究会は 2000 年 4 月に始まり、25 回の研究会を開催してきました。中東地域情勢研究会は今回で終了となりましたが、(株)INPEX ソリューションズでは、新たな企画で今後も中東・ユーラシア地域の情勢を解説・発信していきます。

以上